

【 実 施 要 項 及 び 大 会 規 定 】

- (1) 試合時間は80分でハーフタイムのインターバルを10分とし、1・2回戦は勝敗が決しない場合、ペナルティーキック方式(仮称PK合戦)によって次回戦に進むチームを決定する。3回戦以降は20分の延長戦後、勝敗が決しない場合はPK合戦を行い、次回戦に進むチームを決定する。3回戦以降の試合で延長戦やPK合戦により試合時間が長引いた場合は、試合終了後30分後に次の試合を開始する。
- (2) 選手交代は6名までとする。ただし、準決勝、決勝の交代数は全国大会の交代数に準じる。交代は随時、主審の許可を得て行う。この場合、必要事項を記入した選手交代票を本部または第4審判まで提出し、ハーフウェイラインのところから入ること。
- (3) 試合開始30分前までに、メンバー用紙に交代要員(最大9名まで)を含む必要事項を記入して、JFA発行の選手証を添えて本部用および相手チーム用の2部を提出しなければならない。メンバー用紙のベンチ入りスタッフ欄には順位をつけ、番号を記入すること。なお、準々決勝以降はMCミーティングを行うので、選手証、メンバー用紙2部、正・副2組のユニフォーム(GK含)を持って、試合開始予定時刻の70分前に、指定された場所に集合すること。原則として監督が出席すること。
- (4) 選手エントリーの変更および追加は、毎試合最大5名に限り認められる。この場合、選手エントリー変更届をメンバー用紙に付して本部に提出する。なお背番号の変更は認めない。ただし、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染の疑いにより選手エントリーの変更および追加がある場合は、「インフルエンザ等による選手エントリー変更届」に必要事項の記入および公印の捺印をして、試合ごとにメンバー用紙に付して本部に提出する。この場合のエントリー変更は上記の5名には含まれず、上限はない。
- (5) ベンチに入ることのできる人数は、交代要員9名、チーム役員6名とし、メンバー用紙にて特定されなければならない。特定された者の中から、その都度1名の者のみが戦術的指示を与えることができる。この1名の者は特定の1人に限定される必要はない。
- (6) 本大会において主審より退場を命じられた選手等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員会で決定する。出場停止を受けた場合、フィールド、ベンチ、ロッカールーム等の区域に立ち入ることを禁止する。応援席で観戦することは認められているが、他の選手への指示は禁止する。
- (7) 本大会において累積された警告が2回となった選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (8) 1回戦から準決勝まではミカサ、モルテンの試合球を使用する。また、決勝戦はプーマの試合球を使用する。
- (9) その他は大会実施年度の「日本サッカー協会規則」による。
- (10) 落雷等による危険事象により審判員や大会本部の判断により試合が中止された場合、再試合を行うことが原則であるが、大会本部の判断で残り時間の消化により試合を成立させることもある。さらに、施設面、安全管理面、日程面等で再試合が不可能な場合、大会本部において試合を成立させること、また抽選等によって勝者(次回戦へ進むチーム)を決定することもある。
- (11) 本大会は全国高校サッカー選手権大会の県予選を兼ね、優勝校はその出場権を得る。また準優勝校は滋賀県の第二代表校とし、優勝校が全国高校サッカー選手権大会に出場できない場合、第二代表校が代わって出場権を得る。
- (12) 新型コロナウイルス等により参加できない場合、当該校は棄権となり対戦校が不戦勝となる。ただし、決勝戦のみ試合を順延し、代表校を決定する場合がある。

【 注 意 事 項 】

- (1) 試合には前番号も付いた正・副2組のユニホームを必ず持参すること。
- (2) 試合において提出する用紙は全てペン書きで記入すること。
- (3) ベンチの位置および試合前の練習場所は、原則として本部から見て左側をトーナメント表の上のチーム右側をトーナメント表の下チームが使用すること。
- (4) 会場(競技場、控室、その他)の使用、後始末は各チームで責任を持ち会場校等に迷惑をかけないようにすること。